



介護保険制度改正

介護保険法は、超高齢社会にむけて2000年スタートしました。介護を社会全体で支える仕組みづくり、利用者の主体性をうながす「措置から契約へ」の制度転換は、新しい時代へ貢献しています。そして、5年が経過したこの春、よりよい制度にするための大きな見直しが行なわれました。高齢期を迎えたとき誰もが安心して、住みながら地域で生き生きと暮らしていけるよう、介護予防の段階から身近な地域で総合的な支援の実現を目指しています。

【介護保険法改正のポイント】

- 予防重視システムへの転換
新予防給付・地域支援事業の創設
- 新たなサービス体系の確立
地域密着型サービス・地域包括支援センター創設等
- サービスの質の確保・向上
情報開示の標準化
- 負担の在り方・制度運営の見直し
保険料の見直し
市町村の保険者機能の強化等

お年寄り地域福祉支援センターとびうめ (地域包括支援センター) が誕生しました!



新介護保険でうたった「住みながら地域でのその人らしい生活」を実現するために、地域ケアの中核的な機関となるのがお年寄り地域福祉支援センター(地域包括支援センター)です。金沢市の委託を受けた19か所のセンターが地域の総合相談や介護予防をおこなっていきます。とびうめは主に小立野、新野地区を担当します。地域の馴染みの「総合相談窓口」として、気軽に相談、立ち寄れるセンターを目指していきます。

ご相談は、訪問、来所、電話と希望にあわせます。また、個別相談の他、家族介護教室・介護予防教室等も行っています。

【電話】 076(231)3377
(電話相談は24時間)
【住所】 金沢市飛梅町2番1号

主任ケアマネジャー 佐宗節子
(センター長)
保健師 坂本幸恵
社会福祉士 中 恵美

これまで7年間、金沢お年寄り介護相談センター(在宅介護支援センター)として、地域とともに歩んできた私たちのセンターが、この4月「お年寄り地域福祉支援センターとびうめ」として装いも新たにスタートしました。

新事業の一環として、介護予防マネジメントや地域支援事業・高齢者虐待への対応等の、総合相談窓口として活動いたします。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーといった専門のスタッフが連携しあい、協働で地域の高齢者の心身の健康保持と増進のため、包括的、継続的に支援させていただきます。

今後ともよろしく願っています。



センター長 佐宗節子
(さそうせつこ)

地域連携室 NEWS-2

「多くの患者さまを
ご紹介いただき
ありがとうございます」

■ 昨年度の紹介患者さまの状況

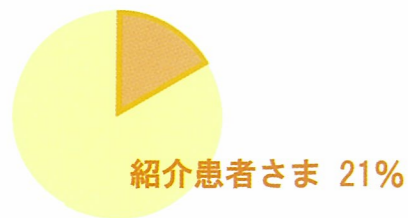
■ 昨年度、当院を初めて受診された患者さまは897人で、そのうち地域の医療機関等からご紹介いただいた患者さまは39パーセントを占めます。一昨年度と比較するとその割合は約二倍となり、多くの患者さまをご紹介いただき、ありがとうございます。

■ これからも、患者さまにご満足いただけるサービスが提供できるよう、努めたいと考えております。お気づきの点は、お申し出ください。

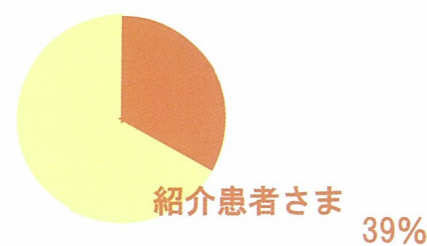
■ これからも患者さまご紹介の
窓口として迅速かつ確実な
対応に努めます

■ 地域連携室では、患者さまをご紹介いただく際、患者さまが安心して受診できるように、当院で提供できるサービスについてできるだけ詳しくご紹介するように努めています。また、迅速かつ確実な対応を心がけています。今後も、地域の医療機関・福祉機関の皆様とよりよい連携を目指して参りたいと考えております。よろしく願っています。

平成16年度



平成17年度



松原病院 地域連携室

〒920-8654
石川県金沢市石引4丁目3番5号
電話 (076)231-4381(直通)
FAX (076)231-4382
【担当】 ソーシャルワーカー 寺西 里恵
【受付時間】
月曜～金曜 9:00～17:00
☆受付時間外は下記へご連絡ください
病院代表 (076)231-4138

～飛梅町の由来～



松原病院構内のうち、とびうめ館のある場所は飛梅町といえます。飛梅町の名は昭和39年に一度金沢市の地名から消え、平成12年に復活したものです。「飛梅」と言えば福岡県太宰府の飛梅が知られていますが、この町名はこの地に加賀八家の一つ前田対馬守の下屋敷があったことから、主家前田家の梅の家紋にちなんだものです。菅公ゆかりの飛梅とは直接関わりはないものの、この町名復活を祝って大宰府天満宮からは大宰府の梅が金沢市に送られ、現在とびうめ館並びの石川民俗資料館に植樹されています。

feature KANAZAWA